

# GIDWR 岐阜県感染症発生動向調査週報

2015 年第 51 週  
(12/14~12/20)

Gifu Infectious Diseases Weekly Report 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

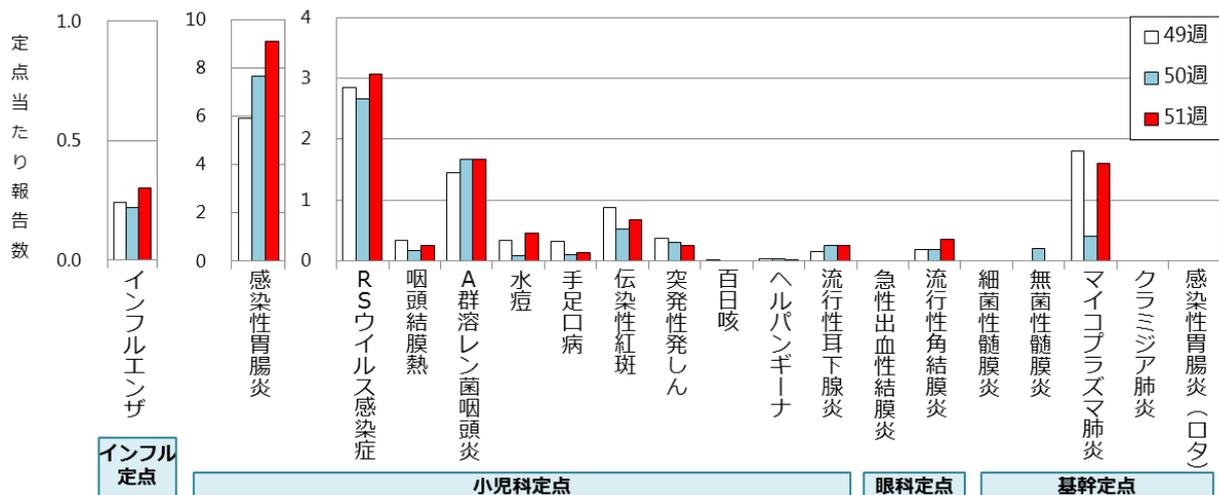
- ◇ RSウイルス感染症は高いレベルで推移しています。→トピックス
- ◇ 感染性胃腸炎が増加しています。ノロウイルス感染に注意が必要です。→トピックス
- ◇ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は患者数の多い状態です。
- ◇ 12月21日に各務原市内の小学校で、今シーズン県内で初めてインフルエンザによる学級閉鎖がありました。

## ■ 定点把握対象疾患（インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所）

### ● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

	疾患名	保健所（定点当たり報告数）
警報レベル	感染性胃腸炎	岐阜保健所（21.10）
注意報レベル	なし	—

### ● 直近 3 週の比較



## ■ 全数把握対象疾患

### ● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 12 例
- 3 類感染症：なし
- 4 類感染症：なし
- 5 類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 2 例

### ● 2015 年累計

1 類感染症	なし		
2 類感染症	結核	415 例	
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	27 例	腸チフス 1 例
4 類感染症	つつが虫病	15 例	マラリア 1 例
	デング熱	6 例	レジオネラ症 26 例
5 類感染症	アメーバ赤痢	16 例	侵襲性肺炎球菌感染症 41 例
	ウイルス性肝炎	3 例	水痘 (入院例) 7 例
	カバペネシ耐性腸内細菌科細菌感染症	8 例	梅毒 17 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	5 例	播種性クリプトコックス症 4 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3 例	破傷風 1 例
	後天性免疫不全症候群	23 例	風しん 1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例	麻しん 1 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	3 例	

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターの HP をご覧ください。

感染症発生動向調査週報 (IDWR) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>

## ■トピックス

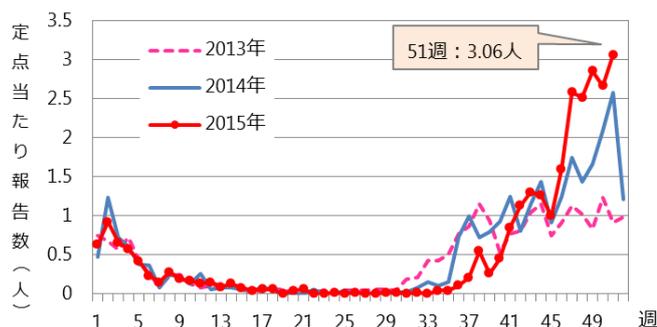
### 《RSウイルス感染症》

#### ◆ 県内全域で多くの患者が報告されています

県内 53 の小児科定点医療機関から報告される RS ウイルス感染症の患者数は、11月中旬以降高いレベルで推移しており、第 51 週は 162 例（定点当たり 3.06 人）と過去最多となっています。

県内全域で患者が報告されていますので、今後も引き続き注意が必要です。

RSウイルス感染症患者報告数（岐阜県：53定点）



#### ◆ 乳児や基礎疾患のあるお子さんは特に注意が必要な疾患です

RS ウイルス感染症は、2歳までにほとんどの乳幼児が一度は感染し、生涯にわたり感染を繰り返すとされています。症状は軽いかぜ症状から重い肺炎まで様々ですが、特に乳児期早期（生後数週間～数ヵ月）に初感染すると、細気管支炎や肺炎など重篤な症状を引き起こす場合があります。

また、早産児や低出生体重児、心肺系の基礎疾患や免疫不全などのある2歳未満の小児は重症化のリスクが高く、注意が必要です。

#### ◆ 乳幼児のいる家庭や施設では感染に注意を

RS ウイルス感染症の主な感染経路は飛沫感染や接触感染です。年長児や成人がRSウイルスに再感染した場合は症状が軽いため、RSウイルス感染症と気づかずに乳幼児への感染源となることがあります。

咳などの呼吸器症状がある年長児や成人は、可能な限り乳幼児との接触を避けることが乳幼児の発症予防には重要です。

接触感染対策としては、手洗いを励行し、乳幼児が触ったり口に入れたりする可能性のあるもの（おもちゃや手すりなど）をアルコールや塩素系消毒薬などでこまめに消毒することが有効です。

#### ★感染症法における取扱い

RS ウイルス感染症は、感染症法において5類感染症定点把握対象疾患に定められており、全国約3,100か所（岐阜県53か所）の小児科定点から毎週報告がなされています。届出基準・届出様式はこちらをご覧ください。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/11223/kansenshouhou-kijun.html>

（保健医療課 HP）

## 《感染性胃腸炎》

### ◆ ノロウイルスに注意が必要です

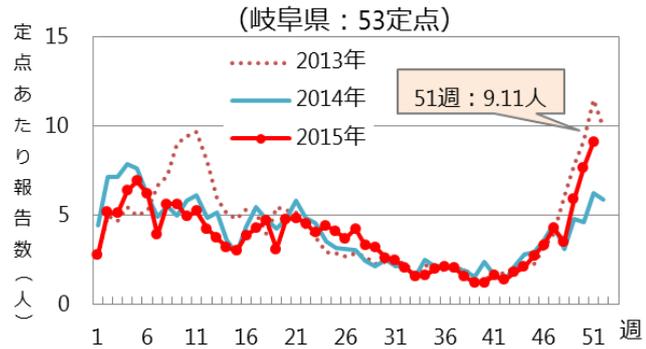
県内 53 の小児科定点医療機関から報告される感染性胃腸炎患者数は、12 月に入り急増しています。

第 51 週は 483 人(定点あたり 9.11 人) と今シーズン最多の報告数となり、特に岐阜保健所管内で定点あたり 21.10 人と警報レベルの流行となっています。

今月、県内の飲食店でノロウイルスを原因とする食中毒も発生しています。

今後も動向に注意し、ノロウイルスの予防対策を徹底する必要があります。

感染性胃腸炎患者報告数



### ノロウイルスの感染・食中毒を予防するために

#### ★ 手洗い

トイレの後、調理前、食事前、汚物処理後などには、石けんと流水でしっかり手を洗い、手についたウイルスを落とします。手洗いは最も重要な予防方法です。

#### ★ 汚物の処理は適切に

患者の嘔吐物や便を処理する場合は、使い捨てのマスクや手袋を使用し、ペーパータオルなどで静かに拭き取った後、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）で消毒を行います。

#### ★ 調理器具などの消毒は次亜塩素酸ナトリウムまたは熱湯で

調理器具、患者の便や嘔吐物で汚染された衣類・タオルなどなどは、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）または 85℃・1 分間以上の加熱により消毒します。

#### ★ 食品はしっかり加熱

加熱が必要な食品は中まで十分に火を通します。

#### ★ 下痢や嘔吐の症状のある人は調理を控える

ノロウイルス感染が疑われる人は、調理を控えることが安全です。

### ★ 感染症法における取扱い

感染性胃腸炎は、感染症法において 5 類感染症定点把握対象疾患に定められており、全国約 3,100 か所（岐阜県 53 か所）の小児科定点から毎週報告がなされています。届出基準・届出様式はこちらをご覧ください。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/11223/kansenshouhou-kijun.html>

(保健医療課 HP)

岐阜県感染症情報センターHP

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/>